



「ちとせ」が変われば「みらい」が変わる

ちとせみらい通信

昨年はドラマティックなことがたくさんあった一年でしたが、皆さまからご後援をいただき、無事に新年を迎えることができました。誠にありがとうございます。特に9月6日に発生した胆振東部大地震では、近隣の厚真町、安平町、鶴川町を中心に甚大な被害があり、私も災害ボランティアとして現地に赴きました。いまだに深い爪痕を残す被災地の様子を見るにつけ、一日も早い復旧・復興を祈らずにはられません。皆様にとって本年が健康で希望に満ちた一年でありますことをご祈念申し上げます。

第4 定例会一般質問

12月13日に議会で一般質問を行いましたので、その内容をご報告いたします。今回取り上げた課題は、JR千歳駅周辺における単身者向けマンションの乱立問題についてです。

この問題については、2年前にも議会質問で取り上げましたが、もともと一軒家が建っていた狭い敷地に、住居戸数分の駐車場を設置せずに建てられた単身者向けマンションの問題を取り上げ、不正駐車によって、除雪作業車や緊急車両の通過、ごみの収集などに影響を及ぼす可能性があることを指摘し、未然に防止するための施策を求めました。この際の要望に対して、市は、平成29年8月4日に、「千歳市共同住宅等における駐車施設の設置に関する指導要綱」を制定し、本年1月4日に施行されました。しかし、この要綱が制定されるまでの間も、JR千歳駅周辺では同様のマンションの建築が相次ぎ、私が住む末広東町内だけを見ても、一昨年の質問時には3棟だった該当物件が、確認しているだけで既に10棟に上っています。末広地区は自家用車が普及する以前の昭和30年代から住宅地として発展した地域であり、生活道路が狭いため、過去にも、町内のワンルームマンションで路上駐車が常態化し、長い間、近隣トラブルとなった経過があります。

これまで指導要綱に基づき、計4回の住民説明会を開催し、地域住民も交えて、3社の施工業者から話を聞きましたが、いずれの業者においても、不足分の駐車場は必要に応じて探す、不正駐車や除雪に関する問題があった場合は都度対応すると述べるにとどまり、建築確認申請が受理されたことを盾にして、当該マンションの建設を継続する

との回答でした。このことから、私は、建築予定の物件を含む10件の現場写真を添え、千歳市町内会連合会を通じて、本年度の町内会要望事項として、市に、歯どめとなるさらなる対策を求めてきました。

この要望に対しては、本年8月に、市町連ブロック会議説明資料と題された回答文書が千歳市町内会連合会を通じて届きました。その回答内容によると、指導要綱に抵触する物件の届け出は本年9月20日現在で27件、このうち、12件については、敷地内に入居予定戸数分の駐車施設が確保されていない、つまり指導要綱に反しているとい



1 まちづくりに対する市長の政治姿勢

- (1) JR千歳駅周辺における単身者マンション乱立問題
- (2) 都市計画のコンセプト
- (3) 町内会の維持存続
- (4) 市と市町連の役割分担
- (5) 幹部職員の意識改革

うことが記載されておりました。ところが、市は、建築主から、車を所有していない人に限定して賃貸契約を結び、入居者の事情により車を所有することになった場合は近隣駐車場をあっせんする、路上駐車による近隣住民とのトラブルが発生した場合は、入居者に対し強制退去もできるよう、契約書に特約事項を設けるなどと建築主側から説明されたことを理由に、事業者も要綱を遵守することに努めていると一方的に決めつけ、指導要綱の効果はあると記載しています。

さらに、恒常的に路上駐車を行っている特定の車両を確認した場合には、警察へ通報していただければ対応すると聞いており、建築主、千歳警察署、市など関係者が連携を図り、路上駐車への対応を行っていることから、市としては、現状において、さらに拘束力の強い対策を講じることは考えていないと結んでいます。

この要望書については、当初、9月14日に鉄東コミュニティセンターで開かれる予定だった市町連主催のブロック会議において説明をいただく予定でしたが、9月6日早朝に発生した北海道胆振東部地震の影響により、ブロック会議そのものが中止となりました。この件に関しては、町内会としてもやむを得ないものと受けとめました。そこで、11月30日に開かれた千歳市町内会連合会要望回答説明会において、要望に対する補足説明ないし質疑応答の場があるものと期待して出席しましたが、結局、単会からの個別要望に対する回答や市の意向の説明がなされることなく、今日に至っておりますため、今回、議会の場で取り上げさせていただくことにしました。当日は近隣5町内会から十数名の市民に傍聴に来ていただき、私も隣接する苫小牧市の対応事例などを挙げながら、かなり突っ込んだ質問をしましたが、山口市長の答弁からは、私たちの要求に対する前向きな回答は得られませんでした。市長の姿勢からは、ちとせのまちをエリアごとにどのようにデザインして、市民が快適に生活できる環境を守るべきなのかという都市計画に関するコンセプトが微塵も感じられず、野放図に民間事業者のやりたいように放置している姿勢を見るにつけ、誠に残念としか言いようがありません。

安平町、厚真町で被災地ボランティア

前号ではスペースの関係で記載できなかったのですが、9月6日の胆振東部大地震の発生を受けて、9月10日と11日に安平町で、16日には厚真町でボランティア作業を行ってきました。10日は、はやきた子ども園でひたすら園庭のウッドデッキの撤去、翌11日はおいわけこども園で園児たちの対応、16日は厚真町の福祉センター入口にて、恵庭市の「珈琲きゃろっと」さんが開いた出張カフェの運営を手伝って来ました。自宅の目前まで土砂が迫り、九死に一生を得た方の生々しいお話を聞いて戦慄したり、元気に遊ぶ子どもたちの屈託のない笑顔を見て逆に癒されたり…。被災して無残に押しつぶされた建物を目の当たりにすると、災害がいつ誰にでも起こり得ることなのだ、まざまざと実感した次第です。



市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとを是非北山けいたにお聞かせください。



メール: mail@kitayama-keita.com

ホームページ: <http://kitayama-keita.com>



「北山けいた」は議会議員も公僕であり、市民の御用聞きであるべきと考えています。議員としての取組みをホームページやブログなどで発信しています。

また、私の考えに賛同して一緒に行動していただける方を広く募集しております。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

ちとせみらい通信は私の想いを届けるかわら版です。

